社会展開推進部会 2019年度活動報告(最終報告)



- 1. 社会展開推進部会の役割・検討経緯
- 2. 【成果①】現地視察ツアーの結果
- 3.【成果②】横国大と連携した移動実態に関する調査
- 4. 【成果③】スカモビ2020イベント等を通じた情報発信
- 5. 2019年度活動に関する総括
- 6. 2019年度活動に関する構成員のコメント

- 1. 社会展開推進部会の役割・検討経緯
- 2. 【成果①】現地視察ツアーの結果
- 3. 【成果②】横国大と連携した移動実態に関する調査
- 4. 【成果③】スカモビ2020イベント等を通じた情報発信
- 5. 2019年度活動に関する総括
- 6. 2019年度活動に関する構成員のコメント

地域住民

社会展開推進部会の役割について

- モデルシティ構築に向けて、2つの部会が連携しながら取組を推進
- 社会展開推進部会では**地域のニーズ調査を主に担当**

ヨコスカ×スマートモビリティ推進協議会

戦略

提示

中村 文彦 横浜国立大学 副学長

スカモビの企画、実施、展開等に必要な事項に関する協議 等



要請への対応等

要請への対応等

プロジェクト推進部会

東京大学大学院

実証プロジェクトの戦略的・効果的推進 提言 支援 報告•要請

企業・大学等

PM PJ3 PJ2 実証プロジェクト 裾野拡大

スマートモビリティ・チャレンジ・ネットワーク

【役割】企業・大学等の連携によるイノベーション創出

報告、要請等 社会展開推進部会

【役割】ニーズ調査及び周知・広報戦略の検討

提言 戦略 提示

スカモビ2020実行委員会

昭男 YRP研究開発推進協会 会長 【役割】スカモビの周知・広報、社会受容性の向上

プロジェクト推進/社会展開推進部会等の連携イメージ

- 両部会が両輪となって、実証プロジェクトの社会実装を推進
- **常に検討内容をフィードバック**し、効率的・効果的取組を実現

プロジェクト推進部会

- ・プロジェクト全体戦略(枠組み、実装フィールド、規制の観点)の検討
- ・実証プロジェクトの戦略的かつ効果的な推進





成果・課題等の報告

プロジェクト1

反映済ニーズ

プロジェクト2

反映済ニーズ

プロジェクト3

反映済ニーズ

未反映のニーズ (潜在的なニーズ) <u>②調査結果に</u> <u>基づく提言</u>

▲①ニーズ抽出

各種調査・イベント等

社会展開推進部会

- ・ニーズ調査や現地視察等の企画・実施、プロジェクトへの反映
- ・社会受容性向上に資する周知・広報戦略の検討



社会展開推進部会の構成員一覧

構成員等(案)

※主査を除き五十音順

(2020年3月末日時点)

	所属•役職	氏名
主査	東海大学工学部土木工学科 教授・学科長	梶田 佳孝
副主査	横浜国立大学 都市イノベーション研究院 特任准教授	有吉 亮
	社会福祉法人恵徳会 特別養護老人ホーム 恵徳苑 総合施設長・苑長	五十嵐 直子
	久里浜地区連合町内会・久里浜地域運営協議会 会長	小川 喜久雄
副主査	モビリティジャーナリスト	楠田 悦子
	京浜急行電鉄株式会社 生活事業創造本部 三浦半島事業開発部 課長	佐野 泰
	株式会社浜銀総合研究所 地域戦略研究部 部長	添野 好一
	株式会社ティー・エム・シー 専務取締役	千葉 理恵子
	長井連合町内会・長井地域運営協議会 会長	原 忠
	東逸見第2町内会 会長	深津 之男

〇オブザーバー: 関東総合通信局、関東運輸局、関東経済産業局及び神奈川県

(補足) 社会展開推進部会(本年度の主な活動イメージ)

現地視察ツアーの立案



モデルシティ構築の舞台 となる地域で現場視察と、 当該地域で活動を行う 人々との対話を企画・実施

現地視察(例)

プロジェクト 推進部会



市民等 との対話

社会受容性の向上に関する周知・広報戦略

楽しみながら先進技術に触れられる体験型 デモンストレーションの実施方法検討

興味を抱いてもらえるイベントの実現



有効性・利便性を実感し、実際に使ってみたいという

年齢や性別を問わず、移動によるストレスが軽減される 近未来の生活環境イメージの創造



スマートモビリティを使いこなす格好よさなど イメージアップにつながる情報の発信

市民モニターや実証実験の参加者募集 利用者と開発者の対話促進など



実証へ参加や意識調査、シンポジウムや対話 を踏まえた啓蒙活動による理解の促進

- 推進協議会への報告、協力要請
- ・プロジェクト推進部会への提言

推進方策の具体化

・スカモビ2020実行委員会連携した、イベントを通じた活動推進

横須賀市の課題リストの整理

人口流出

年	転出超過数	全国順位
2013年	1,772人	1位
2014年	899人	17位
2015年	1,785人	2位
2016年	1,266人	8位
2017年	1,112人	8位

産業流出



谷戸地域におけるコミュ ニティ再生、空き家問題







社会展開 を加速

スカモビによるプロ ジェクト実施



日本全国 に展開

具体化

課題リストを整理し、プロジェクトに反映させる とともに、同リストを公表し参加者の裾野拡大

横須賀外の関係 企業・大学等

関係 省庁

④社会受容性の向上

⑤情報発信•広報

プロジェクト推進部会

関係 企業

関係大学• 研究機関

横須賀スマートモビリティ宣言との対応関係

横須賀スマートモビリティ宣言(2019年1月 協議会決定)







3つのまちづくりビジョン

社会展開推進部会の主な検討範囲

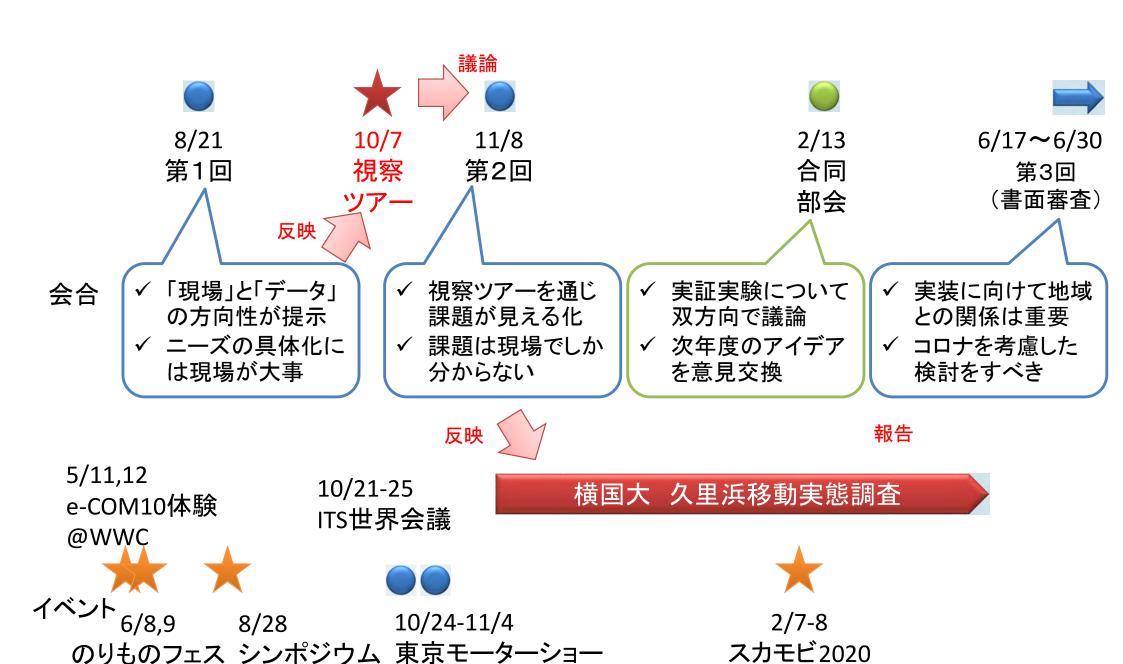
①体制などの構築

-PJ創出、有機的な連携 など

②フィールドの整備 -実装·実証環境の整備 など スカモビ支援 パッケージ

③規制の突破 -規制緩和の支援 など

- 4社会受容性の向上
- 5情報発信・広報
- 6連携等の推進
- 7人材育成・確保



- 1. 社会展開推進部会の役割・検討経緯
- 2. 【成果①】現地視察ツアーの結果
- 3. 【成果②】横国大と連携した移動実態に関する調査
- 4. 【成果③】スカモビ2020イベント等を通じた情報発信
- 5. 2019年度活動に関する総括
- 6. 2019年度活動に関する構成員のコメント

現地視察ツアー 行程概要

目 的:社会課題を抱える地域に直接赴き、ヒアリングや体験を通じた地域ニーズの抽出を行う

日 時: 令和1年10月7日(月)9時30分~17時00分

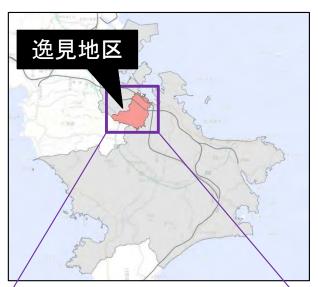


<参加者>※敬称略

氏名	所属	部会
コーディネーター 楠田 悦子	モビリティジャーナリスト	社会/PJ
梶田 佳孝	東海大学 教授	社会
有吉 亮	横浜国立大学 特任准教授	社会/PJ
添野 好一	(株)浜銀総合研究所 地域戦略研究部長	社会/PJ
小川 喜久雄	久里浜地区連合町内会·久里 浜地区地域運営協議会 会長	社会
深津 之男	東逸見第2町内会長	社会
五十嵐 直子	社会福祉法人恵徳会 総合施設長	社会
佐野 泰	京浜急行電鉄(株)生活事業創造本部三浦半島開発部 課長	社会
東 昭人	KTグループ・専務取締役	PJ
高橋 淳	京浜急行電鉄(株)グループ戦 略室 担当課長	PJ

現地視察ツアー 結果概要 (①逸見地区)

- 逸見駅そばの丘陵地(1本道)に沿って家々が建ち並ぶ模様を視察
- 高低差が大きく、車が横付けできないことによる困難さを実体験









現状の課題

- ○住民だけでなく、<u>サービス</u> 提供者(ゴミ収集、物流な ど)にとっても障壁
- ○大雨時などの<u>災害時にお</u> ける大変さを感じた

解決のアイデア

- ○インフラ投資が過剰にならないよう、既存技術等の組合せで解決を図ってみては
- ○**人的解決・支援**でカバーで カバーできる部分がある

現地視察ツアー 結果概要 (②10,000mプロムナード)

- バスに乗りながらヴェルニー公園や馬堀海岸などの観光拠点を視察
- 観光拠点の魅力、拠点間の距離感・周遊性などを実体験



歩行者用の空間が十分に確保されている。



平日にも関わらず大勢の方が乗船。 (参考)2018年の観光客数:25.7万人



天気が良ければ富士山を望むことができる。 ゆっくり航行する船舶を眺められる。

【馬堀海岸周辺】

海沿いに一直線に遊歩道が続いている。

現状の課題

- ○魅力的な拠点があるが、 **情報発信が不十分**では
- ○<u>10kmの距離は長く</u>、また 拠点間の<u>移動性・周遊性</u> に課題がある

解決のアイデア

- ○タイムリーな情報発信
- ○**スタンプラリー**の導入
- ○**低速のモビリティ**があれば 景観も楽しめるのでは

現地視察ツアー 結果概要 (③久里浜地区)

- 久里浜地区の成り立ち、イオン久里浜店のモビリティの取組を説明頂く
- 台地・平地の特徴的地形や、イオン無料循環バスの重要性を認識



現状の課題

- ○無料循環バスのニーズは 大きいが、無料のままでは 増便などは難しい
- ○混雑時に電話での問合せ があり、対応人員が必要

解決のアイデア

- <u>地域全体として循環バスを</u>支える仕組みを検討
- ○循環バスと路線バスの連携

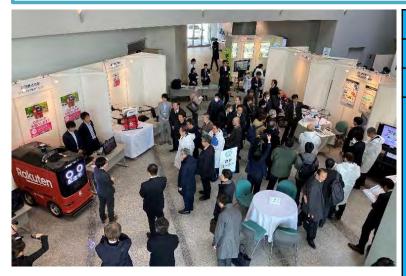
- 1. 社会展開推進部会の役割・検討経緯
- 2. 【成果①】現地視察ツアーの結果
- 3. 【成果②】横国大と連携した移動実態に関する調査
- 4. 【成果③】スカモビ2020イベント等を通じた情報発信
- 5. 2019年度活動に関する総括
- 6. 2019年度活動に関する構成員のコメント

資料6-2にて別途ご報告

- 1. 社会展開推進部会の役割・検討経緯
- 2. 【成果①】現地視察ツアーの結果
- 3. 【成果②】横国大と連携した移動実態に関する調査
- 4. 【成果③】スカモビ2020イベント等を通じた情報発信
- 5. 2019年度活動に関する総括
- 6. 2019年度活動に関する構成員のコメント

スカモビ2020イベント開催結果概要

- 横須賀リサーチパークにて、2020年2月7日(金)、8日(土)イベントを開催
- ビジネス向けのプロジェクト成果発表のほか、試乗体験等を通じた社会受容性向上を図った
- 来場者数は2日間合計2,400人





名称	ョコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ2020 ~未来に乗れる。未来が見える。~
主催	ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ推進協議会
会場	YRPセンター I 番館及び周辺 (含む公道)
プログラム	①デモ・展示 32件(公道デモ3件、屋外デモ5件、屋内デモ9件、展示15件) - ドローン/ロボット配送(楽天)、AI運行バス(ドコモ)等の支援PJの展示 - YRP野比駅~横須賀リサーチパーク間の自動運転バスの試乗体験 - 歩行領域EV、電動キックボード等のパーソナルモビリティの試乗体験 など ②シンポジウム(※7日(金)のみ) - 推進協議会 中村会長の基調講演 - スカモビ支援プロジェクトの成果発表(モデレータ:横国大 有吉先生) - スマートシティ先進自治体の取組紹介(モデレータ:東海大 梶田先生) ③子供向けイベント(※8日(土)のみ) - ヒューマンアカデミーロボット教室、日産わくわくエコスクール、KTグループ くるま育はんどるさん、京急顔出しパネル、デジタル水族館など
報道状況	 ■来場報道機関数:9機関 ■新聞記事掲載:読売新聞 等 ■TV放送:J-COM湘南 ■ネットニュース等 レスポンス、exciteニュース、日本経済新聞、PRTIMES、ニコニコニュース、ロボスタ、Rarea 等
後援	総務省関東総合通信局、経済産業省関東経済産業局、国土交通省関東運輸局、神奈川県、(国研)情報通信研究機構、(国研)海洋研究開発機構、(NPO)ITS ジャパン、(一社)神奈川県情報サービス産業協会、(一社)東京都情報産業協会
協賛	(株)NTTドコモ、沖電気工業(株)、KDDI(株)、京浜急行電鉄(株)、 日本電気(株)、富士通(株)、横須賀市
協力	かながわ信用金庫、神奈川県オールトヨタ販売店およびトヨタ自動車(株)、 湘南信用金庫、日産自動車(株)、(株)横浜銀行

その他イベントを通じた情報発信① ~ョコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ 第1回シンポジウム~

- 8月28日(水)@品川にてキックオフイベントを開催(約400名)
- スカモビチャレンジ・ネットワークの参加希望が約161社

プログラム(概要)

- 一来賓ご挨拶 小泉進次郎衆議院議員/横須賀市 田中副市長
- -基調講演 横浜国立大学 中村副学長(推進協議会会長)
- ーパネルディスカッション

モデレータ 横浜国立大学 中村副学長

パネラー 京浜急行電鉄(株) 原田社長、(国研)情報通信研究機構 門脇理事、(株)NTTドコモ 中村CTO

ープロジェクト報告 楽天(株)/全日本空輸(株)/(株)NTTドコモ















その他イベントを通じた情報発信② ~地域住民の社会受容性向上に資するイベント~

- 社会受容性の向上を図るため、積極的なPR活動を展開
- 数多くの市民の方々にスマートモビリティを体験頂いた

ANAウインドサーフィンワールドカップ

日程:2019年5月10日(金)~5月15日(水)

場所:津久井浜海岸(横須賀市)、三浦海岸(三浦市)

来場者数:約88,000名

概要:11日(土)、12日(日)の2日間、大会の2つの

会場をつなぐ乗り物として、自動運転バス(e-

COM10)の体験搭乗を実施

イベント紹介ページ抜粋

当日の模様

スマートモビリティの活用

電動自動運転バス「eCOM-10」の体験搭乗

最高速度19km、乗車定員16名、 片側5輪の10輪駆動車のEVバス 「eCOM-10」が津久井浜海岸と三 浦海岸の会場間をつなぎます。 排ガスゼロ・低速走行の省エネ効 果で環境にやさしいモビリティです。





よこすかYYのりものフェスタ2019

日程:2019年6月8日(土)~6月9日(日)

場所:ヴェルニー公園、三笠公園ほか(全て横須賀市)

来場者数:約83,300名

概要:三笠公園の会場内にスマートモビリティのりも

の乗車体験コーナーを設置し、パーソナルモ

ビリティ等の試乗体験を実施

当日の模様



その他イベントを通じた情報発信③ ~スカモビの情報発信・企業とのネットワークに資するイベント~

- 省庁主催にシンポジウムやMaaS関連のイベントに登壇
- スカモビの取組みのPRを通じて企業とのネットワークを拡大

先進自治体・各社のMaaS最前線~ネットワーキングセミナー~(8/29)

<登壇者>

【自治体】<mark>神奈川県横須賀市</mark> 北海道上士幌町,香川県高松市

【事業者】全日空㈱,WILLER㈱ 神姫バス㈱,㈱日本総合研究所 西日本鉄道㈱,トヨタ自動車㈱

【その他】大阪商工会議所



スマートモビリティチャレンジ地域シンポジウム(関東)(11/19)

<登壇者>

【自治体】<mark>神奈川県横須賀市、</mark> 群馬県前橋市

【事業者】東急㈱

【政府関係者等】国土交通省, 経済産業省

【その他】東京大学,筑波大学

出典:スマートモビリティチャレンジ地域シンポジウムホームページ https://www.mobilitychallenge.go.jp/symposium/region-20191119



https://www.mobilitychallenge.go.jp/symposium/region-20191

トロンシンポジウム〜オープンデータやloT、Alによる自治体のデジタル[®] トランスフォーメーション〜(12/13)

<パネルディスカッション> 【コーディネーター】 東京大学大学院情報学環 学環長・教授 越塚 登

【自治体】

- 神奈川県横須賀市
- ・山口県宇部市
- ・千葉県千葉市



出典:トロンシンポジウム ホームページ https://www.tronshow.org/

第2回未来まちづくりフォーラム~まちづくり×5G・ioT~(2/20)

<登壇者>

神奈川県横須賀市 群馬県前橋市 大分県 ㈱NTTドコモ



日下 浩一 氏 横須賀市 経済部企業誘致・工業振興課 課長補佐



未 来 ま ち づくりフォー ラム

Sustainable Cities & Communities Forum

出典:未来まちづくりフォーラムホームページ https://www.sustainablebrands.jp/event/sb2020/special-miramachi.html

その他イベントを通じた情報発信④ ~スカモビの情報発信・企業とのネットワークに資するイベント~

- 海外・国内のモビリティ関連のイベントに参加し、情報収集
- スカモビの取組みのPRも行い、新たなプレーヤーを呼び込む

第26回ITS世界会議シンガポール2019

日程:2019年10月21日(月)~10月25日(金)

概要: "MaaS先進国"と呼ばれるシンガポールにおける取組をはじめ、諸外国における先進事例の情報収集を行った。加えて、スカモビの取組紹介を通じて、海外の複数企業との今後の連携を検討を行った。

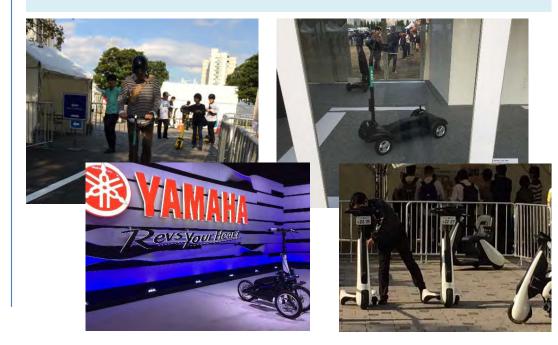




第46回東京モーターショー2019

日程:2019年10月24日(木)~11月4日(月)

概要:国内最大のモビリティイベントに参加し、自動 運転や電動キックボードなどの国内の先進事 例の情報収集を行った。加えて、スカモビの取 組紹介を通じて、国内の複数企業との今後の 連携について検討を行った。



- 1. 社会展開推進部会の役割・検討経緯
- 2. 【成果①】現地視察ツアーの結果
- 3. 【成果②】横国大と連携した移動実態に関する調査
- 4. 【成果③】スカモビ2020イベント等を通じた情報発信
- 5. 2019年度活動に関する総括
- 6. 2019年度活動に関する構成員のコメント

2019年度活動に関するまとめ

<地域ニーズの収集方策>

- ●「現場」と「データ」の合わせ技が重要、方法論は概ね見えてきた
- 企業の方が直接「現場」を見ることは非常に重要

<社会受容性の向上>

- 様々なイベントを通じて多くの市民の方にスカモビを体験頂く
- 他のイベントに絡めてPRする等、効果的な方法を検討

<情報発信•広報>

- セミナーでの情報発信等を通じてスカモビの認知度は向上
- 地域の方向け、企業向けなど戦略性を持った取組が重要

く連携等の推進、人材育成>

- セミナー等を通じて、北海道上士幌町、群馬県前橋市などとの 意見交換・連携を行った
- 引き続き連携を推進するとともに、人材育成の取組を実施